

## 教育委員会定例会日程

平成27年5月26日

### 1 開 会

### 2 前回会議録の承認

### 3 会議録署名委員の決定

### 4 報告事項

(1) 芸術文化普及啓発事業（アウトリーチ）の実施状況等について

(資料1 文化政策課)

(2) 青少年の体験交流事業等について

(資料2 青少年課)

### 5 議事

#### 日程第1

#### 議案第21号

キャンパスおだわら運営委員会委員の委嘱について

(生涯学習課)

#### 日程第2

#### 議案第22号

小田原市文化財保護委員会委員の委嘱について

(文化財課)

#### 日程第3

#### 議案第20号

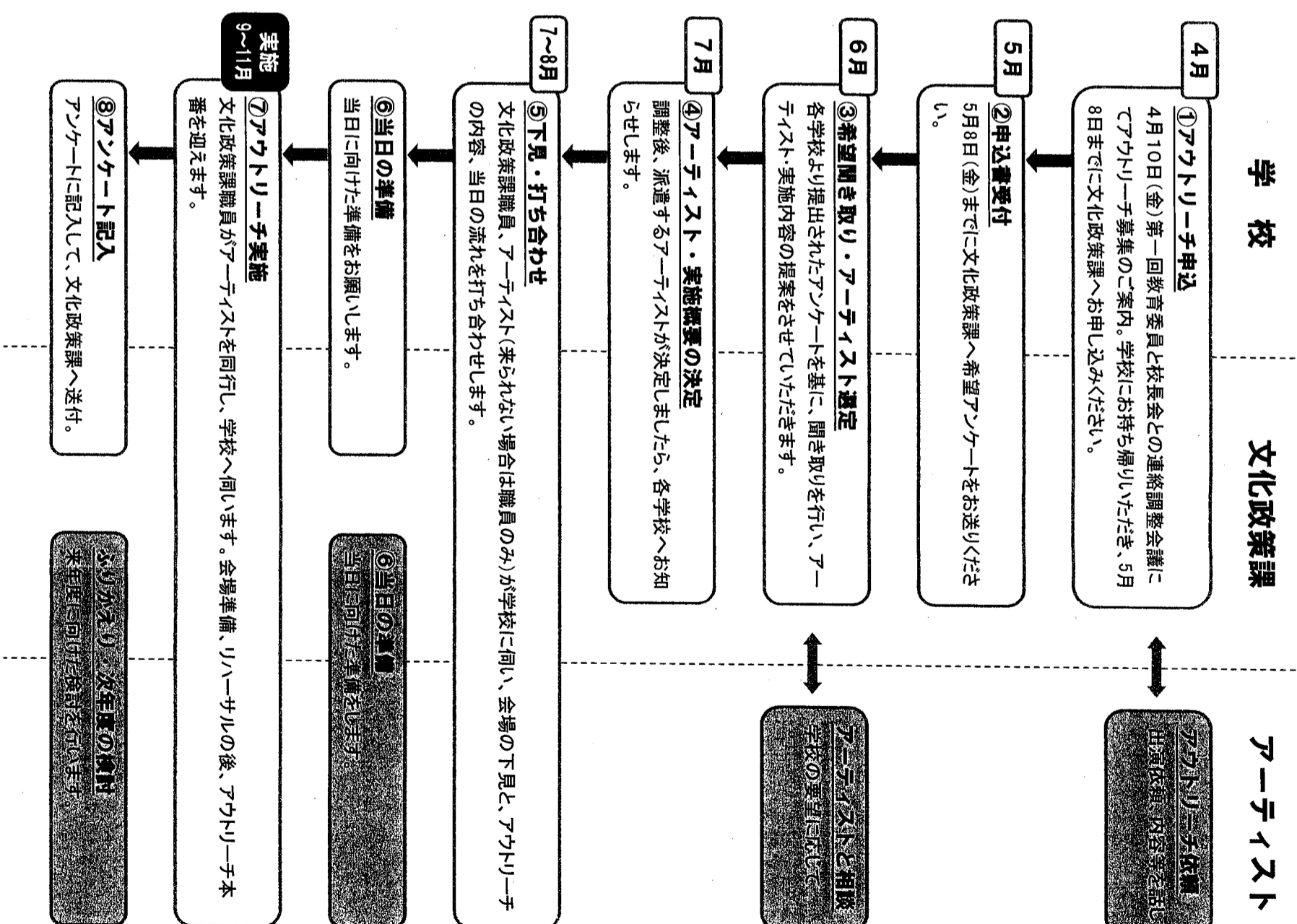
平成27年6月補正予算について【非公開】

(生涯学習課・文化財課・青少年課)

### 6 その他

### 7 閉 会

### ■ アウトリーチ事業実施の流れ



## 平成27年度 芸術文化普及啓発事業（アウトリーチ）内容

小田原市 文化創造活動担い手育成事業

### ■ アウトリーチ事業の概要

小田原市では、芸術文化創造センター(平成28年度完成予定)整備にあわせソフト事業を行っています。芸術文化の裾野を拡げ、新たな文化の担い手の育成を目指し「文化創造活動担い手育成事業」の一環として平成23年度より、アウトリーチ事業を実施しています。

子どもたちの創造力や感性を刺激し、豊かな情操を育むことを目的とし、学校へのアウトリーチ事業を実施しています。教室や体育館など子どもたちの身近な場にプロの芸術家(アーティスト)が出向き、質の高い芸術に触れ、芸術家と交流することで、芸術の楽しさや面白さ、感動を伝えています。アーティストは主に小田原にゆかりのアーティスト、文化政策課の事業と連動、また昭和音楽大学との連携の中から派遣しています。初年度は音楽のみでしたが、伝統芸能や美術(造形)、ダンスなど、現在はジャンルを幅広く開催しています。

### ■ アウトリーチ事業の内容について

実施時期:9月~11月(その他の時期に開催する場合はご相談ください。)

対象:基本的に小学校4年生程度を想定した内容です。

実施規模:より身近に芸術文化に触れていただくために、小規模での参加型の開催をおすすめしています。全校児童での大規模の実施の場合、できるだけ保護者や地域の方々へ公開をお願いします。ジャンルによっては、学年・クラスで分けて1日2回開催なども可能ですのでご相談ください。

ジャンル:音楽(声楽)、音楽(器楽)、音楽(打楽器)、日本の伝統芸能、美術(造形)、ダンス、演劇、クラシックバレエ など

※ジャンルによっては、ワークショップ(体験型)の内容となるため、少人数のみでの開催や、60分~90分の2授業時間(45分×2回)の時間が必要となります。

内容:より身近に芸術文化を体験していただくために、鑑賞のみでなく、児童が参加できる部分を入れることをおすすめしています。(一緒に合唱・合奏、質問コーナー、体験コーナー、など)

その他:事業実施にかかる打ち合わせ、備品の準備、ピアノ調律依頼(支払いは文化政策課)、給食手配などの事前の準備にご協力をお願いします。

- ・各学校の今までの実施状況や希望をお聞きし、話し合いながら内容やアーティストを決めていきます。
- ・どのアーティストも普及啓発・教育育成事業の経験を持つプロのアーティストです。
- ・アーティストが決まった後は、児童にどういった体験させたいかという具体的な内容を、アーティストも含めて話し合いながら決めていきます。
- ・アーティストの日程調整などにより、希望のジャンルに添えない場合がございます。

## ■ 実施規模について

大規模、小規模どちらも利点はありますが、児童一人ひとりの心に残る体験をしていただき、芸術文化により身近に触れていただくために、小規模での参加型の開催をおすすめしています。

**鑑賞型  
(大規模)**

体育館で全校生徒・低学年・高学年単位を対象に100名～400名程度で鑑賞



- ・大規模で開催するため、全児童がアクトリナーを受けることができ、保護者や地域の方などと感動を共有できる。
- ・大人数で鑑賞する時のマナーを学ぶことができる。
- ・児童全員での合唱、演奏者との共演での合唱は迫力で、音楽を通して気持ちが一つになることを学べる。

**参加型  
(小規模)**

音楽室や教室で1クラス・1学年単位を対象に100名以下程度で体験



- ・より身近で鑑賞・体験することができ、児童一人ひとりが集中して、楽しむことができる。
- ・質問を受けたり、話しかけたり、アクトリナーが児童と対話しながら芸術を体験できる。
- ・少人数で行うため、楽器に触ったり、指導を受けたりと児童が体験する場面を作れる。

## ■ 実施のジャンルについて

### ♪音楽（声楽）

内 容：女声（ソプラノ）、男声（バリトン）など  
演奏曲目：日本歌曲、イタリア歌曲、オペラの曲、など  
その他：声楽家の迫力ある歌声を楽しむ、演奏者と一緒に合唱や校内合唱発表会前のコンポイントアドバイスなども実施できる。

鑑賞型  
(大規模)

参加型  
(小規模)



### ♪音楽（器楽）

内 容：ヴァイオリン、チェロ、クラリネット、サクソフーンなど  
演奏曲目：クラシックの名曲、ポピュラーの曲、映画の曲、日本歌曲など  
その他：弦楽器はしっとり、管楽器は楽しく華やかに、楽器紹介や曲の説明などを入れながら楽しむ。一緒に合唱や演奏なども実施できる。

鑑賞型  
(大規模)

参加型  
(小規模)



### ♪音楽（打楽器）

内 容：マリンバ、小太鼓、民族楽器などいろんな打楽器  
演奏曲目：クラシックの名曲、ポピュラーの曲、映画の曲、日本歌曲など  
その他：楽しく、リズムカルに、楽器紹介や曲の説明などを入れながら楽しむ。一緒に合唱や演奏なども実施できる。

鑑賞型  
(大規模)

参加型  
(小規模)



### ♪日本の伝統芸能

内 容：能楽や長唄・三味線など  
演奏曲目：日本の伝統芸能や音楽、など  
その他：芸能の紹介、由来や歴史、曲の説明など。  
体育館など会場に制限あり。2時間分(60～90分)程度必要。

鑑賞型  
(大規模)

参加型  
(小規模)



### ★美術（造形）

内 容：アートハット(紙の帽子)、立体動物工作など  
プログラム：造形教育の専門家によるオリジナルプログラム  
その他：参加型のためクラス単位など少人数での開催に限定。  
2時間分(60～90分)程度必要。

参加型  
(小規模)



### ★ダンス・演劇

内 容：コンテンポラリー(現代)ダンス、演劇  
プログラム：ダンスや演劇の身体表現を通して、コミュニケーションや発想力を学ぶ。  
条件：参加型のため30名程度での開催に限定。1日2回可能。  
体育館など会場に制限あり。2時間分(90分)程度必要。

参加型  
(小規模)



### ★クラシックバレエ

内 容：クラシックバレエ  
プログラム：クラシックバレエの有名な演目を鑑賞し、ステップなどを体験  
条件：体育館のステージを利用。2時間分(60～90分)程度必要。  
2校程度実施予定。

鑑賞型  
(大規模)



※音楽(器楽)の中でも楽器の音量によっては少人数対象のみとさせていただきます。参加型で実施する場合、少人数対象のみ、2授業時間(45分×2回) ※伝統芸能、美術(造形)、ダンス、演劇は、参加型で実施する場合、少人数対象のみ、2授業時間(45分×2回) 必要など実施するために制限があるため、希望に添えない場合があります。

小田原市 芸術文化普及啓発事業(アウトリーチ)の状況 (平成23年度より文化政策課で実施)

平成23年度

Table for Heisei 23: Columns include NO, 実施校, 日時, テーティスト, 学年/人数等. Rows 1-9 list various schools and events.

平成24年度

Table for Heisei 24: Columns include NO, 実施校, 日時, テーティスト, 学年/人数等. Rows 1-14 list various schools and events.

\*アウトリーチとは

「アウトリーチ」は、直訳すると「手を伸ばす」という意味になります。普段、芸術文化に触れる機会が少ない市民に対して、その生活の場(学校や福祉施設など)に向いていて働きかけを行うもので、日本語で標記するならば、「芸術普及活動」あるいは「教育普及活動」という趣旨の活動です。

小学校以外のアウトリーチ

平成25年度

Table for Heisei 25: Columns include NO, 実施校, 日程, テーティスト, 学年/人数等. Rows 1-27 list various schools and events.

27カ所 30回実施

子ども4,222人

平成26年度

Table for Heisei 26: Columns include NO, 実施校, 日程, テーティスト, 学年/人数等. Rows 1-25 list various schools and events.

25カ所 29回実施

子ども4,198人

## 青少年の体験交流事業等について

### 1 指導者養成研修事業 「おだわら自然楽校 (OOTS) 」

青少年健全育成の担い手として継続的に活躍できる青少年指導者の発掘・育成・資質向上を目的とした研修事業です。

#### (1) 期日・場所・内容

	期 日	場 所	研修プログラム
基礎編	5月24日(日)	PAA21 ロープスコース (南足柄市)	ゲーム de グループビルド
	6月20日(土)	旧片浦中学校	体験学習のススメ
	7月4日(土)	三ツ石海岸	磯遊び中級編
	9月上旬	市役所	子どもの気持ちを理解しよう
	平成28年3月	市役所	これが私のプログラム
特別編	10月上旬	旧片浦中学校	キャンプクッキング講座
	11月上旬	足柄ふれあいの村	ネイチャーゲーム遊び
	11月28日	和留沢	山登り中級編

(2) 対象・人数 青少年育成、体験活動に携わるかた、また関心のある高校生以上のかた  
各回30名(先着順) 研修ごとに募集

(3) 受講料 各プログラム 1,000円~2,000円/人・回

### 2 青少年交流事業 「チャレンジ アンド トライ」

各地区子ども会の代表児童(各地区男女1名ずつ、計46人)が集い、地域の子ども会活動などでリーダーとして活躍できるよう、各種プログラムを体験します。

(1) 期日 7月11日(土)

(2) 場所 小田原アリーナ・サブアリーナ

(3) 内容 体験・交流プログラムほか

(4) 参加募集 小学6年生・46人(男23人/女23人) ※各地区の子ども会から選出

(5) 指導者 小田原市子ども会連絡協議会

### 3 地域少年リーダー養成講座 「きらめきロビンフード」

子どもたちが、新しい仲間と一緒に自然体験やキャンプスキルを習得する中で、地域で活躍できる「少年リーダー」としての自覚と行動力を身につけていくことをねらいとしています。講座は、2泊3日のキャンプ(宿泊研修)を中心とした全4回の年間講座です。

(1) 期日・場所・内容

	期 日	場 所	内 容
第1回	7月19日(日)	市役所	オリエンテーションほか
第2回	8月22日(土) ～24日(月) ※2泊3日	いこいの森	キャンプ(野外炊事含む) 自然体験ほか
第3回	10月18日(日)	市役所	記念誌づくりほか
第4回	2月28日(日)	市役所	修了証書授与ほか

(2) 参加募集 小学5・6年生 定員60人

(3) 指導者 小田原市青少年育成推進員協議会

(4) 参加費 未定

#### 4 地域・世代を超えた体験学習 「あれこれ体験 in 片浦」

参加者である小学5・6年生が、学校や学年を超えたコミュニケーションを図り、また、世代の異なる大人(指導者)たちと交流をしながら、創造性や自立心、豊かな人間性を育むことのできるよう、2泊3日の宿泊体験学習を実施します。

なお、この事業は、青少年の健全育成を支える指導者の実践活動の場、特に「おだわら自然楽校」受講生たちの活躍の場としての性格を併せもっています。

(1) 期日 ①第1回目 7月31日(金)～8月2日(日) ※2泊3日

②第2回目 8月8日(土)～10日(月) ※2泊3日

<同じ内容を異なる日程で2回実施します。参加者希望者は、第1回目または第2回目のうち、いずれか一方を選択して申し込みます>

(2) 場所 旧片浦中学校及び片浦地域

(3) 内容 仲間作り/野外炊事/キャンプファイヤー/体験型ウォークラリー  
食事(テーブルマナー、配膳実習)/夜の集い/ふりかえり(発表)  
施設清掃 ほか

(4) 参加募集 小学5・6年生 定員:第1回目48人/第2回目48人 計96人

(5) 指導者 地域・世代を超えた体験学習実行委員会(おだわら自然楽校受講者)

(6) 参加費 未定

議案第21号

キャンパスおだわら運営委員会委員の委嘱について

キャンパスおだわら運営委員会委員の委嘱について、議決を求める。

平成27年5月26日提出

小田原市教育委員会  
教育長 栢沼 行雄

## キャンパスおだわら運営委員会委員名簿

任期：平成 27 年 6 月 1 日～平成 29 年 5 月 31 日

選出区分	氏名	生年	職業等	備考
学識経験者	かなざわ 久美子 金澤 久美子	昭和 33年	小田原短期大学 助教	再任
学識経験者	さいとう ゆか 齊藤 ゆか	昭和 49年	聖徳大学 准教授	再任
学識経験者	さきょう やすあき 左京 泰明	昭和 54年	特定非営利活動法人 シブヤ大学学長	再任
学識経験者	ふるや てつや 古矢 鉄矢	昭和 25年	北里大学 地域連携室部長・事務長	新任
生涯学習の向上に資する活動を行うもの	ありが かのる 有賀 かのる	昭和 35年	スクールボランティア チーフコーディネーター	再任
生涯学習の向上に資する活動を行うもの	おおた みのる 太田 実	昭和 24年	小田原市自治会総連合 監事	新任
生涯学習の向上に資する活動を行うもの	はせがわ はるよ 長谷川 治代	昭和 36年	小田原市青少年育成推進員 協議会 常任理事	新任
生涯学習の向上に資する活動を行うもの	まつした よしひこ 松下 善彦	昭和 47年	有限会社 松下靴店 専務取締役	新任
生涯学習の向上に資する活動を行うもの	よなみね のぶしげ 与那嶺 信重	昭和 23年	特定非営利活動法人 小田原寺子屋スクール	再任
公募市民	ながた けいし 永田 圭志	昭和 57年	会社員	再任
公募市民	まつもと ひろし 松本 浩	昭和 47年	自営業	新任
教育委員会が必要と認めるもの	たちばな ますみ 立花 ますみ	昭和 39年	小田原高等学校定時制 教頭	再任

選出区分別 50 音順



議案第22号

小田原市文化財保護委員会委員の委嘱について

小田原市文化財保護委員会委員の委嘱について、議決を求める。

平成27年5月26日提出

小田原市教育委員会  
教育長 栢沼 行雄

## 小田原市文化財保護委員会委員候補者名簿

任 期 平成27年6月1日～平成29年5月31日

氏 名	職 業 等	専 門	新・再
あいざわ まさひこ 相澤 正彦	成城大学文芸学部芸術学科教授	美術(絵画)	再任
いわはし きよみ 岩橋 清美	国文学研究資料館特任准教授	歴史(近世史)	再任
おかもと たかゆき 岡本 孝之	神奈川県考古学会会長	歴史(考古)	再任
かつやま てるお 勝山 輝男	神奈川県立生命の星・地球博物館 学芸部長	自然科学	再任
きら よしえ 吉良 芳恵	日本女子大学文学部史学科教授	歴史(近代史)	再任
とりい かずお 鳥居 和郎	神奈川県立歴史博物館学芸員	歴史(中世史)	再任
なかむら ひろこ 中村 ひろ子	元神奈川大学教授	民俗	再任
ひらた だいじ 平田 大二	神奈川県立生命の星・地球博物館 館長	自然科学	再任
まつかげ あきのり 松蔭 宣徳	城郭研究家	城郭	再任
よしだ こういち 吉田 鋼市	横浜国立大学名誉教授	建築	再任